

令和元年 11 月 11 日

## 第 2 回八尾翠翔高等学校運営協議会（報告）

協議委員（5 名）の参加をいただき、本校教職員（4 名）が同席し協議を行った。主な質疑等については、以下の通りである。

### ① 第 1 回授業アンケートより

7 月に実施された第 1 回授業アンケートの結果について教頭より説明した。今回は、満足度を示すスコアに伸び悩み傾向が見られる。特に 2 年生は中だるみ状況なのか振るわない。ただ、1 年生は教員、生徒ともに高いスコアを示しており、今後への期待が膨らむ。

#### 【意見・提言】

- ・ 数学や英語のスコアは高いようだ。ただ、授業内容や出題が易しいものになっていないか、チェックすることも重要だ。例えば、テストを作る際に、集中して授業を受けていれば何点取れるかという観点で作成するなど全員で共有すれば有効だと思う。
- ・ 成績の分布や最高点・最低点などの資料を作成し、中学校へ示すなどの工夫をしたらどうか。
- ・ 出題の意図を生徒に周知したり、考えさせる問題を多く出題することも良いと思う。最近の傾向として、問題数が多すぎて考えて解くことが疎かになっている風潮が他校などでは見受けられる。
- ・ 教員へのフィードバックの方法を工夫することも良い。

### ② 本校の広報活動について

今年度の学校説明会や、本校生徒による中学校訪問などについて首席から説明した。

#### 【意見・提言】

- ・ 本校は生徒指導が厳しいのかという質問を中学校から受けた場合、中学校と比べてどうなのか、自主性を養う機会があったり、生徒の意見を取り入れて見直しを行っているなど、中学校に説明できるようにしておくことが大切だ。
- ・ 入学式や卒業式など、少し硬いイメージもある。

### ③ 小高連携・高大連携について

今年度実施の「小学生への学習支援・クラブ指導」「大教大との連携事業」について首席より説明した。

- ・ こうした連携事業に参加した生徒は、自己の進路を見つめる良い機会となっている。
- ・ 少子化の折から、小学生との交流は高校生にとって良い体験になる。
- ・ 八尾市とも連携しており、地域連携が高校教育に果たす役割は非常に大きい。今後ともこうした活動を続けていってもらいたい。